

## 2026年度第1回理事会議事録

日時：2026年4月8日（水） 17:30～19:10

場所：中央大学3号館7階3712会議室、オンライン（ハイブリッド開催）

出席理事（対面）：山上（会長）、米沢（副会長）、黒木（庶務理事）、成島（研究普及理事）、山田（研究普及理事）、塩野（会計理事）、塩田（渉外理事）

出席理事（オンライン）：渡辺（副会長）、宮代（庶務理事）、廣津（編集理事、途中参加）、笠原（支部理事）、岡村（大会理事）、山下（大会理事）、田中（広報理事、途中より現地参加）

欠席理事：猿渡（副会長）、八木（国際理事）、牧野（編集理事）、

出席監事（対面）：今堀

出席監事（オンライン）：河東

オブザーバー（対面）：吉瀬（次期会長候補）

オブザーバー（オンライン）：西川（北海道支部長）、古藤（東北支部長）、桑野（中部支部長代理）、北條（関西支部長）、脇（九州支部長）

事務局（対面）：長谷、伊藤

書記（対面）：矢野

### 【定足数の確認】

山上会長を議長として、定足数の確認が行われた。理事13名（現地参加7名、オンライン参加6名）の参加があり、理事会の成立が確認された。また、監事2名（現地参加1名、オンライン参加1名）の参加が確認された。

### 【審議事項】

#### A-1 前回議事録の確認（庶務理事）

会長より、前回議事録の確認があり、理事会終了までに指摘事項がある場合は発言するよう依頼され、指摘事項はなく、原案通り承認された。

#### A-2 会員管理の件（庶務理事）

黒木庶務理事より、2026年2月末日までの入会16名（正会員1名、学生会員15名）について承認依頼があり、承認された。併せて、退会状況や会員数推移について報告がなされた。また、2025年度第2回以降の理事会で報告した前年度末会員数に誤り（正：1604名、誤：1605名）があったことが報告され、本資料にて訂正されているとの報告があった。

### A-3 2026年度定時総会資料の件

第1号議案「2025年度事業報告書」について成島理事、山田理事、黒木理事、渡辺副会長、笠原理事よりそれぞれ報告があり、承認された。なお理事会開催内容については、これまでと異なり詳細を記載するような方針としたことについても報告があった。

続いて塩野理事より、第2号議案「2025年度決算報告および監査報告」の件について報告があり、承認された。利益は240万円であり、前年比180万増加である。その変動の内訳についても分析の結果問題ないものと説明された。続いて今堀監事より、監査の結果として問題ないことが報告された。

続いて、第3号議案「2026-2027年度新役員承認」の件（庶務理事）、報告1 2026年度事業計画（庶務理事）、報告2 2026年度収支予算（会計理事）についてはいずれも既に承認済のため報告は省略された。

続いて黒木庶務理事より、第4号議案「定款及び役員の報酬等及び費用に関する規程改訂の件」について報告があり、承認された。

今堀監事から誤字の指摘があり、公開前に修正に努めるよう総括された。

### A-4 特定費用準備資金計画案について（会計理事）

塩野会計理事より、内閣府へ提出する特定費用準備資金の計画案として、特定資産の積み立てについて報告され、承認された。

また、昨年に会計のルールが変わったことの影響は大きく、次の会計理事への引き継ぎは、塩野会計理事が6月下旬まで行うことも報告された。

### A-5 2026年秋季表彰学会賞（研究賞・研究賞奨励賞・事例研究賞）候補の件（表彰委員長）

渡辺副会長より、表彰委員会での選考結果の報告があり、承認依頼があった。

研究賞の授与人数について、現行規程（年1名程度）と運用の乖離について議論がなされた。主な議論は、2023年度以降毎年2名を表彰した実績があるが、規程の目安人数を増やすことは賞の価値の希薄化を招く懸念がある。一方で、優れた研究を奨励する効果も考慮すべきであるといった内容であった。

今堀監事から、事例研究賞に関して3件程度に対して6件も許容されるのではないかという表彰委員会での意見があったと記載があるが、6件は3件程度の範疇には入らないという意見表明があった。また、1名程度を2名程度と緩和した場合には3件の推薦が起り得るという発言に対しては、2名「以内」といった記載の仕方もあるという提案があった。会長は、これらの指摘を受けて、3件程度に対する許容は4件だという意見を述べたが、事例研究賞については授与数に上限を設けてあること自体に疑問を述べ、会場からも今回の事例研究賞が5件推薦されていることについて反対意見は付かなかった。

表彰制度のあり方については、改めて検討が必要であるとし、次回以降の理事会で継続的に議論していただくよう会長より総括があった。

研究賞は、反対2名（山田理事、塩野理事。反対理由は、1名程度と定められている

ことと、4年にわたり2名に授与することとの整合が取れないから。)、賛成11名の賛成多数により、研究賞奨励賞と事例研究賞は全会一致により、承認された。

#### A-6 大会運営における有料 Slack の導入について（研究理事）

成島理事より、大会運営の効率化を目的とした有料 Slack 導入案が説明された。審議の結果、試用として認め、評価のために必要な期間（最低でも1年間）を経過したのちには、必ず評価を行い、見直しをかけるということを条件とした。また、Slack だけに頼るのではなく、引継ぎ情報は整理して整備していくことも条件とした。

審議の過程では、以下のような議論が行われた。

- 黒木理事からは、履歴を残すという意味では、別途契約している課題管理ツールを流用すべきではないか、それにより継続的な出費は抑えられるという意見が述べられた。
- 田中理事からは、広報委員会から大会に派遣されている委員の意見も踏まえて、即時性を求めるチャットという手段では、整理されていない情報が蓄積された状態になるだけで、過去の経緯を読むことに対する負担がかえって大きくなるのではないか、という懸念が示された。
- 宮代理事からは、有料版 Slack と課題管理ツールとが補完する関係にあるのであれば、導入の順序が違ったときに片方が認められないのはおかしいので、安くはないけれども導入する価値はあると思う、有料版 Slack を導入することで本当に楽になるかというところは不明だと思う、という意見が述べられた。
- 山田理事からは、(1) ここ2年の大会に毎回派遣されている庶務幹事と研究普及委員の2名からの要望である旨、(2) 研究普及委員会においても、課題管理ツール「も」利用する動きを進めている旨、(3) 大会が継続的に出している黒字に十分収まる費用であり、費用感を問題にする必要はないのではないか、という意見が示された。
- 山下理事からは、次の秋季大会の運営では、無料版 Slack を使っており、90日制限の影響で何度かの書き直しは発生したが、メールは一切使わず、Slack でのコミュニケーションでうまく運営できている旨が報告された。

#### A-7 2027年度春季大会の開催地、実行委員長の件（研究理事）

成島理事より、東京理科大学での開催の承認依頼があり、承認された。

#### A-8 3-4-2 研究部会規程の改訂について（研究理事）

成島理事より、規定内容を実態に合わせた規定となるように改訂したい旨の承認依頼があり、承認された。

#### A-9 東北支部・支部規則の改定について（支部理事）

笠原理事より、本部の上位規程に合わせた改訂をしたい旨の承認依頼があり、承認された。また、黒木理事より、支部規則、その上位規程とされる支部規程細則の位置づけ・書き方・承認主体および支部監事の設置是非について意見が述べられ、次回以降の理事

会への宿題とすることとなった。

A-10 学会活動の費用に係る規程・細則の整備に関して（会計理事）

塩野理事より、現規程の不備を直したい旨の紹介があったが、塩野理事が理事退任後も会計関係で残務があることから、次の理事会に審議を繰り延べることとなった。

A-11 法律との差分を解消するための役員規程改訂の件（庶務理事）

黒木理事より、現在規程を関係法令に合わせるとともに、実務上の運用円滑化を図るための改訂案が説明され、承認された。

会長から、会長候補者や役員候補者については選「出」となっている点について質問があったが、黒木理事から、それらは「選んで場に出す」という行為を表すので、変更しなくてよいと考える旨の回答があった。

A-12 2026年度理事会及び2027年度定時総会日程の件（庶務理事）

議長より、今後開催予定の定例の理事会及び2027年度定時総会の日程について、承認依頼があり、吉瀬次期会長候補にも確認が取れていることが共有され、承認された。

**【報告事項】**

B-1 2025年度後半代表理事職務執行状況報告（代表理事）

山上会長より、代表理事の職務執行状況について報告があった。

B-2 2026年度第1回ORコンペティション予算・計画の件（研究普及委員長）

米沢副会長より、第1回ORコンペティションの予算及び計画について報告があった。

B-3 2026年度研究部会・グループ追加補助金申請の件（研究理事）

成島理事より、数理計画（RAMP）常設研究部会に対し30万円の追加補助金を交付することについて報告があった。

B-4 「最適化のモデリングとアルゴリズム」研究部会表彰規程（研究理事）

成島理事より、「最適化のモデリングとアルゴリズム」研究部会の表彰規程について報告があった。

B-5 2026年秋季大会概要と予算案の件（研究理事）

成島理事より、2026年秋季大会の予算案と概要について報告があった。

B-6 2025年度ORセミナー決算の件（普及理事）

山田理事より2025年度第3回、第4回ORセミナーの決算について報告があった。

B-7 他団体の表彰に係る推薦の件（普及理事）

山田理事より、本会が推薦した株式会社日立製作所のOR実施成果が、第55回日本産業技術大賞において、最高賞である「内閣総理大臣賞」を受賞した旨、報告があった。

会長より、表彰式当日の写真等を入手しているため、学会ウェブサイトで広報してほしい旨、広報理事へ依頼があった。受賞者の担当者と適宜連携の上、進めることとなった。

B-8 2026～2027 年度会長候補者信任投票結果の件（選挙管理委員長）

選挙管理委員長より 2026～2027 年度会長候補者信任投票の結果について、報告があった。

B-9 2026～2027 年度代議員候補者信任投票結果の件（選挙管理委員長）

選挙管理委員長より 2026～2027 年度代議員候補者信任投票の結果について、報告があった。

B-10 臨時理事会及び 2026 年度第 2 回理事会議事予定の件（庶務理事）

宮代理事より、臨時理事会及び 2026 年度第 2 回理事会議事予定について、報告があった。

以上

書記：矢野 夏子

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2026 年度第 1 回理事会

議事録署名人

議長（会長）	代表理事	山上	伸
（副会長）	代表理事	渡辺	隆裕
（副会長）	代表理事	米沢	隆
	監事	河東	晴子
	監事	今堀	慎治